ニッポン美人化計画

MISSION 43

2014.04

MAKE-UP: UDA (S-14)

PHOTO: Shunya Arai (FEMME) STYLING: Chiharu Dodo HAIR: KANADA (LAKE TAJO)

ベーシックな白シャツをさらりと着こなすスタイルは、シンプルの極み。だからこそにじみ出る“色気”をメイクでも表現。

Text: Ryoko Kobayashi

今月のミューズが生まれるまで

宗本 愛さん（学生）

2014. 1. 27 at Omotesando
(Photo: UDA)

「“自分の主張がある人”。その直感通り、気後れすることなく堂々と振る舞う様子や、彼女の独特のテンポが印象的。自分の魅力を意識していないかのように見えるところが、逆にかわいさを増幅させている」

——UDAさん

5 4 3 2 1

今また新鮮！超定番の白シャツの色気

海外で働くことを目指し、就職活動中の宗本さん。将来を考えるきっかけとなったNY旅行で見つけた真っ赤なリップがお気に入り。

「そんな普段の様子や洋服の好みを聞くうちに出てきたアイデアが、ドラマ『ロングバケーション』（'96）の山口智子を思わせる、白シャツにハイウエストのデニム。永遠ともいえる定番スタイルだけど、見慣れたシンプルさがかえって色気をにじみ出させることに。メイクのポイントは、リップ。爽やかなナチュラルにはせず、色っぽくすることで魅力が増すと思いました」（UDAさん）

肌にファンデーションは塗らず、コンシーラー（1）で赤みのバランスを整え、そのあとメインのリップメイクへ。色はポップだけど、女らしさのあるきれいなブライトピンク（5）を使用。

「色をべったりのせたかったので、リップスティックを直に唇につけて塗っています。輪郭はオーバー気味に。とはいっても、唇の縁の盛り上がった部分を越えない範囲が目安です」（UDAさん）

アイメイクは、目尻にアクセントを置いて、上瞼の睫毛の生え際をペンシルライナー（4）で埋めて下地をつくり、次にリキッドライナー（3）で目頭から睫毛のアウトサイドに沿ってラインを引き、目尻の2mmほど手前からピンと跳ね上げる。

「目尻に角が生えたようなイメージのフォルムがポイント。大きめのメガネのフレームは顔の印象がやわらかくなりすぎるので、ともすると意地悪っぽく見える辛口のクセをわざと入れてみました」（UDAさん）

睫毛も目尻を重点的にカールさせ、上下にマスカラ（2）を何度も重ねづけした。

メイクは、ムードで考える

今回実は、スタイリングの一環としてフレグランスを組み合わせるという楽も。

「目に見えるものではないけれど、ヴィジュアルに合った香りでイメージを膨らますのも手。気分がのって、メイクもトータルの仕上がりもぐっと良くなるはず」（UDAさん）

UDA≫ メイクアップアーティスト。本誌をはじめとしたファッション・ビューティページのほか、数台のメイクプロデュースも手がける。緻密な理論とメイクの常識を覆すオリジナルのテクニックにも注目が。本企画では、街でのモデルハントから、ヴィジュアル全般のディレクションまでを担当。

右： アイラインは、目尻に描く三角形の跳ね上げがポイント。鏡を軽く引っぱり、シワをのばして描く。**左：** 口紅はスティックを直で。先端のエッジを使ってリップラインを引く。ブラシやペンシルをプラスしてもOK。

1： カバーしたいところをピンポイントで隠えるブラシタイプ。さらりと軽い感触で持ちの良さも優秀。肌色や悩みカバーに応じて選べる4色。エアブラシ コンシーラー 全4色 ¥3,100（クリニーク） **2：** ロング効果を発揮する繊維入り。生え際からしっかりカールしつつ、ダマにもならず美しい仕上がり。AQ MW エレガント マスカラ WP BK001 ¥3,500 ✦ 4/16発売（コスメデコルテ） **3：** 細い面、太い面で太さを調整できる平筆タイプ。濃密な黒が発色。にじみづらいのに洗顔料でオフが可能。マジョリカ マジョルカ ラインハンター BK999 ¥1,000（資生堂） **4：** シャープな発色の漆黒色。クリーミーな描き心地で、しっかりフィットし、つけたての発色と仕上がりが続く。ペアミネラル ラスティング ライン ロング ウェアリング アイライナー アブソルートブラック ¥2,500（ベアエッセンシャル） **5：** なめらかなマット質感のルージュから、ポップなピンクが登場。インパクトのある色ながら、肌浮きせずに、しっくりなじむ、ルージュ アリュール ヴェルヴェット 44 ¥3,900（シャネル）